

平成23年度熊本県商店街実態調査（基礎調査）結果

商店街実態調査とは

商店街の基礎的な数値を毎年把握することにより、より効果的な商業振興施策を展開するうえでの基礎資料とするため実施するものです。

毎年、3月末日現在の県内商店街の空き店舗数等の基礎的な数値を調査（基礎調査）します。
3年に1回、上記調査（基礎調査）に加えより詳細な実態を把握する調査（実態調査）を行います。
（前回実態調査は平成22年度に実施）

調査対象（この調査の「商店街」の定義）は、「15店舗以上で形成される街区」です。
組織の有無は問いません。

調査結果により把握する数値は、次の3つです。

空き店舗率（全店舗に占める空き店舗の割合）

新規出店率（1年間の新規出店数が、調査時点の店舗数に占める割合）

閉店廃業率（1年間の閉店・廃業数が、調査時点の店舗数に占める割合）

平成23年度商店街実態調査（基礎調査）について

調査対象商店街数：205商店街

回答商店街数：186商店街（回収率90.7%）

調査区分：県内商店街を次の6つに区分して集計

熊本市の認定中心市街地に所在する商店街（42）

八代市の認定中心市街地に所在する商店街（6）

山鹿市の認定中心市街地に所在する商店街（7）

認定中心市街地...改正後の中心市街地活性化法に基づく活性化計画の認定を受けた地域。

その他の中心市街地に所在する商店街（54）

その他の中心市街地...改正前の中心市街地活性化法に基づく活性化計画の中心市街地で、改正後の中心市街地活性化法に基づく活性化計画の認定を受けていない地域。

熊本市の中心市街地外に所在する商店街（55）

上記以外の商店街（41）

八代市（旧鏡町） 人吉市 水俣市
玉名市 山鹿市（旧鹿本町） 菊池市
宇土市 宇城市（旧松橋町）
阿蘇市（旧一の宮町） 天草市（旧本渡市・旧五和町） 城南町 南関町
小国町 高森町 山都町（旧矢部町）
氷川町（旧宮原町） 多良木町 湯前町 あさぎり町（旧免田町）

調査結果

過去3か年の推移については、別紙のとおりです。

空き店舗率

10.2%

（対前年度比 +0.1ポイント）

新規出店率

3.0%

（対前年度比 0.2ポイント）

閉店廃業率

3.4%

（対前年度比 0.7ポイント）

- ・ 空き店舗率は10.2%で、平成16年度から連続して「1割以上」となっている。
- ・ 新規出店率、閉店廃業率ともに前年度の調査結果と比較すると大きな差異はなく、ほぼ横ばいである。
- ・ 出店よりも閉店のペースが上回っている状況も、依然として続いている。
- ・ 県全体では中心市街地外よりも中心市街地の方が空き店舗率は高く、熊本市内では中心市街地よりも中心市街地外の方が空き店舗率は高い。